

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870300492
法人名	医療法人 三善会
事業所名	グループホーム薬師谷マナー
所在地	愛媛県宇和島市川内甲2101番地
自己評価作成日	平成 21年 7月 17日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 **※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載**

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成21年8月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

個人の尊厳を守り支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者をはじめ職員全員が朗らかで、笑顔でやさしく声かけをする等の基本的な姿勢を常に意識しており、研修等にも積極的に参加してケアの技術も習得する等、利用者の穏やかな生活を支援するために努力をしている。  
 すぐ近くに山や川があるため災害の観点からみると警戒が必要な地域であるため、防災の意識は非常に高く、多面的な想定での避難訓練の実施や、非常の際の備蓄等も常備している。  
 地域の中のホームを意識し、日々の近隣住民とのふれあいや地域の行事にも積極的に参加し、交流を大切にしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム薬師谷マナー

(ユニット名) 雪輪

記入者(管理者)

氏名 横濱 和枝

評価完了日 21年 7 月 17 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) ミーティング等で理念について話す事はあり、理念を地域密着型の理念に作り直すように話しているが、まだ出来ていない。</p> <p>(外部評価) 設立当初の理念を、管理者を中心に職員全員が共有し実践しているが、目標に到達している感があり、管理者や職員もそれを感じている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 地域の行事（清掃活動、お祭り、市民運動会、フリーマーケット等）には積極的に参加している。日常的に散歩し、挨拶を交わしている。</p> <p>(外部評価) ホームに隣接する畑の持ち主に野菜の作り方を教わったり、近所の方が野菜を持ってきたりもしている。地域の行事にも積極的に参加し、地域住民と利用者の交流を大切にしている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 特にこれと言った事は行っていないが、認知症の方が自由に出入りされて、認知症の方の事を少しでも理解していただけるきっかけにはなっているのでは？</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に1度運営推進会議を行い、ホームの行事や現状を報告し外部の人々と情報交換しサービス向上に取り組んでいる。	
			(外部評価) 地域の役職の方も参加してくれるようになり、行政職員や家族から、いろいろなアイデアや意見が出されていることが、要点をしっかりと記録している会議録から読み取れる。また、出された意見をサービスに活かす努力もしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議に市の担当の方に参加して頂き、又市のGH連絡会にも参加し、協力し合っている。介護相談員さんも受け入れ、介護保険の更新、申請、訪問調査、等連携している。	
			(外部評価) 運営推進会議の時に行政説明をしてもらったり、利用者の暮らしぶりなどはもちろん、運営についても報告や相談が気軽にできる良好な関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 研修で理解を深め、実践に取り組んでいる。	
			(外部評価) 職員は外部の研修も受講し、拘束するような言動がないか日々気をつけている。玄関の鍵は、夜間（防犯）と危険な時間帯以外は、常に自由に出入りできるよう施錠していない。センサーは付けているが、常に職員が安全に配慮しながら拘束のないケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修を受ける機会があり、職員間でも仕事にストレスをためないよう話を聞き、防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修に参加し、必要性を十分に理解し、ミテイング等で話し合い活用できるよう支援している。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に十分な説明をし、その後も疑問点、不安な事にはその都度対応している。報酬加算、料金の変更時には家族に説明し理解して頂き同意して頂いている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議に家族の方、外部の方参加して頂き意見を頂き運営に生かしています。又面会時には声をかけ要望とがないかお聞きしている。介護相談員を受け入れ利用者のお話を聞いていただいている。  (外部評価) 来所する家族から、意見や要望等を聞くように努めている。家族会を立ち上げたいと考えており、そのための行動も起こしてはいるが、中心になってくれる方への負担など様々な課題があり、設立には至っていない。	家族会は、利用者や家族の意見等を運営や日々のケアに反映させるための有効な手段であるため、設立できるよう家族と協力しながら進めていくことを期待したい。

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 定期的に事業主同席し、ホーム長会議主任会議を開き職員や利用者の状況、実情を話す機会を設けている。ミーティングの際はホーム長主任同席にて職員間の意見を聞き積極的に現場に取り入れていると思う。</p> <p>(外部評価) 法人代表者や管理者が、職員の意見を大切に考え十分聞いて反映させてくれることを職員も承知しており、ミーティング等でも意見を言いやすい環境が整っている。さらに個別面談の時間も設定されるなど、きめ細かい対応がなされている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 勤務状態を勤務表で把握し、職員が希望する研修等も勤務として認め、スキルアップできるようにしている。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 各自の立場経験に応じた研修を受けられるよう、又希望の研修を受けられるようにしている。各自のスキルアップには協力的である。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 市GH連絡会、南予地区研修会（県GH協議会）相互研修に参加して他ホームと交流している。運営推進会議にも他のホームの方に参加して頂き交流をしている。</p>	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 時間をかけ、本人のお話を十分に聞き、安心していただけるよう取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 契約する際十分にお話しし、家族の気持ちに寄り添い関係作りに努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 家族、本人、お話をよく聞き今必要なのは何か、十分に話し合い納得いくサービスを提供していく。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者の方個々の力や性格等配慮しながら一緒に生活していると言う場面や環境を作っていくよう心がけている	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) プラン作成時のミーティングには家族の方に同席して頂き、家族の方の要望や思いを聞きプランに取り入れている。ホームの行事ごとには家族に声かけし、一緒に過ごして頂けるよう努力している。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人にはホームへ来て頂き、又馴染みの場所へは送迎するなど関係が継続できるよう支援している。  (外部評価) 行きつけの美容室に通ったり、昔からの友人知人を訪ねて行くなど、馴染みの関係を継続できるよう支援している。また同市内の他地域からの利用者もいることから、新たな馴染みを作ることに努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者間の関係を職員が把握し、出きるだけ利用者同士が協力し合える様支援しているが利用者同士でトラブルが生じる場合があるので状況は把握できるよう努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退去されても、家族から相談があるときは気軽に相談に乗ったりしている。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者の意向の把握には努めているが、認知の進行や体力等を考えると本人本位の暮らしではない事もある。  (外部評価) 職員は利用者への声かけに努め、日々の生活の中や、外出時、行事等の特別な時間の中での一人ひとりの言動や行動、表情などをよく把握している。また、そこで得た情報はセンター方式（日常の情報集約のためのシート）を活用し、追記して職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所時に聞き取りを行い、これまでの暮らしの把握に努めている。本人にとって大切な経験や出来事を知りその人らしく生活できるよう心がけている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) スタッフ内で気づいた事は報告しあい、記録し把握に努めている。D-4用紙を用い1にちの過ごし方、状態を記入し、全職員理解できるようにしている。	



自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	(自己評価) 家族の方にもできるだけ参加してもらい、スタッフと 一緒にミーティングを行い現状に則した介護計画をそ の都度作成している。	
			(外部評価) 職員全員が、利用者により良く暮らしてもらうため にはどうしたらよいかを考え、現在担当制の導入を試み ている。家族にも可能な限り参画してもらうよう努め ており、必要に応じて関係者からの聞き取りや話し合 いを行い、介護計画の作成とモニタリングを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに活 かしている	(自己評価) D-4用紙を用い記録し全職員理解し支援の方法や介 護計画の見直しに役立てている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機 能化 本人や家族の状況、その時々生まれる ニーズに対応して、既存のサービスに捉わ れない、柔軟な支援やサービスの多機能化 に取り組んでいる	(自己評価) お墓参りや自宅の風通し等、希望があれば出来るだけ 対応するよう心かけているがシフトの都合上希望する 日には出来ない事もある。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源 を把握し、本人が心身の力を発揮しながら 安全で豊かな暮らしを楽しむことができる よう支援している	(自己評価) ホーム内で生活する事が多く本人の力を発揮できるよ うな支援は出来ていない。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) 事業主が医院であるので院長の指示の元、家族、本人 と話し、適切な医療を受けれるよう勤めている。</p> <p>(外部評価) 利用者や家族の希望を最優先し、かかりつけ医の受診 ができるよう支援している。また、法人代表者が医師 であるため、必要に応じて専門医と連携をとることも でき、適切な医療を受けられる体制ができている。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 職員が気づいた利用者の変化や本人からの体調不良が あった場合は速やかに看護師に報告し対応できている。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 入院時はホームでの生活等情報を提供したり、入院中 も面会に行き安心して治療が受けれるように支援し、 又看護師から経過を聞いたり関係作りに勤めている。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) 終末期の利用者の方の対応をまだしたことがない。ス タッフ間で方針、終末期のあり方について話し合う機 会を持って行きたいと思う。</p> <p>(外部評価) 救急法の研修を受講したり、急変時のマニュアルを作る など、緊急時の対応方法を身につける努力をしている。 法人代表者や管理者が医療職で、夜間でも対応でき るよう体制を整えている。</p>	<p>利用者や家族は、状況の変化により不安を感じるの で、今以上にきめ細やかな心のケアに努めていくこと を望みたい。また、法人代表者や管理者を中心に、全 職員で利用者の意向を踏まえた個別の対応方法を話し 合うなど、細かな終末期のケアが実践できるよう期待 したい。</p>

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 普通救命講習を全スタッフが受け、対応できるようにしている。定期的に通講し実践力を身につけていかなければと思う。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 定期的に避難訓練を行っている。地域の消防団もあり協力して頂いている。  (外部評価) 近くに山や川があるため、災害に対する意識は非常に高く、夜間を想定したり、消防署職員、地元消防団の協力を得ての避難訓練も実施している。非常の際の食料や仮設トイレ、テント等も常備しており、スプリンクラーの設置も計画している。	災害時は、地域に協力を求めるとともに、ホームを一時避難所として活用するなど、地域住民の一員として協力できることを、運営推進会議等を活用してアピールしていくことを期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者との関係が長くなると馴れ合いが生じ尊厳に対する意識が薄くなっている事もあると反省。  (外部評価) 援助が必要な時も、本人のプライドを傷付けないようにさりげなく声かけをし、状況に応じて居室などプライバシーが守られる場所に移動し、自己決定のうえ対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 出来る限り自己決定の場を作るよう心がけ自分で決めたり希望を表したりすることを大切にそれらを促す取り組みを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者の高齢化により介助の負担が増えるにつれ、個々のペースを大切にという気持ちはあるが、職員側の都合による支援になってきている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 整容の乱れや季節感のない着衣などあればプライドを大切にさりげなく支援している。本人の希望に合わせて美容院への利用も行っている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 配膳や片付けも一緒に行い、スタッフも入居者と同じ食事を一緒に楽しんで食べながら介助の必要な方にはさりげなく支援している。	
			(外部評価) 職員が会話のきっかけや話題を提供し、利用者同士が楽しく食事ができる雰囲気づくりをしている。利用者同士の会話もはずみ、楽しいひと時となっている。支援の必要な利用者横に職員が座り、楽しくかつ自立した食事ができるようさりげない援助がなされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個々の状態に応じ水分チェック、食事量のチェックし、支援している。月に1回カロリー計算を行いチェックしているが栄養バランスの改善が難しい。又体重チェックし、管理している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後の歯磨き、義歯の手入れ、洗浄、等口腔の清潔を日常的に支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) それぞれの排泄パターンを把握しプライバシーに配慮しながら時間誘導、声かけを行いトイレでの排泄や、排泄の自立に向けて援助を行っている。排泄チェック表がある。	
			(外部評価) 必要に応じてチェック表を用いて排泄パターンを把握している。声かけや誘導も利用者のプライドや周囲の利用者に十分な配慮を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 水分摂取や運動の必要性を理解してもらい個々に応じた予防に取り組んでいる。必要に応じて下剤など薬を服用している。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 出来る限り本人の希望にあわせて入浴できるよう支援しているが全介助の方はスタッフの都合に合わせて行っているところがある。	
			(外部評価) 職員には、毎日でも入浴させてあげたいという意欲もあり、できる限り利用者の希望にそった入浴支援をしている。体調や気分の優れない場合は、半身浴や清拭に切り替えるなどの対応を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) リビングでうとうとされたり疲れた様子の方には声かけ居室、和室で気持ちよく眠れるよう温度調節や寝具などの調節にも心かけている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の目的、副作用、用法、容量を周知しており医師の指示通り服用できるよう支援し、症状の変化を確認、報告している。(個々の薬の説明書を閲覧出来るようにしている)	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 飲酒、喫煙なるべく制限しないようにしている。出来る限り楽しみごとや出番を見出せるよう場面づくりの支援を行っており、配膳、食器拭き、洗濯たたみ、洗濯干し等行ってもらっている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 本人の希望により、美容院へ送迎。買い物へ出かける。又お盆やお彼岸のお墓参り。友人宅への送迎。	
			(外部評価) 日常、ユニットごとに作っている食事を、1つのユニットで全て作ることで人員と時間を確保し、ドライブなどの外出に充てる工夫をしている。また、玄関先にベンチを置くなど、少しでも外に出やすい環境づくりに配慮している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 個々の力量に応じて支援している。自己管理が可能な方所持され買い物など一緒に出かけたりする。訪問販売のパン屋さん買い物され支払いされる。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 自由に電話を掛けれるようにしている。自分で手紙がかけない場合、代筆もしている。切手、ハガキ常備している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節ごとに装飾品を変えたり、花を生けたりと家庭的で落ち着いた環境づくりに配慮している。男性利用者が女性が入浴中に入らないよう入浴札を作るなどしている。	
			(外部評価) リビングは、利用者と職員がのびのびと座って食事ができる大きなテーブルを置いているが、それでも車いす等が十分に行き来できる広いスペースがある。大きな窓からは適度な光が入り、緑豊かな景色を見ることができ、落ち着いた共用空間が確保されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) テーブル席だけでなく、ソファや和室があり誰でも好きなところで過ごせる空間だと思う。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家で使い慣れたものを自由に持ってきて頂ける様家族の方に説明はしているが備え付けの家具などがあるので持ち込めるものは少ないと思う。	
			(外部評価) 備え付けのタンスやベッドもあるが、利用者の使い慣れた好みのタンス等も持ち込むことができる。各部屋に2人がゆったり腰掛けられるしっかりとしたソファが設えられており、居室内でもゆっくりくつろぐことができる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 安全かつ出きるだけ自立した生活を送れるように要所への手すり設置等設備や工夫をしている。またトイレ浴室等場所の明記も大きくしている。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870300492
法人名	医療法人 三善会
事業所名	グループホーム薬師谷マナー
所在地	愛媛県宇和島市川内甲2101番地
自己評価作成日	平成 21年 7月 18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 **※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載**

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成21年8月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

個人の尊厳を守り支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者をはじめ職員全員が朗らかで、笑顔でやさしく声かけをする等の基本的な姿勢を常に意識しており、研修等にも積極的に参加してケアの技術も習得する等、利用者の穏やかな生活を支援するために努力をしている。  
 すぐ近くに山や川があるため災害の観点からみると警戒が必要な地域であるため、防災の意識は非常に高く、多面的な想定での避難訓練の実施や、非常の際の備蓄等も常備している。  
 地域の中のホームを意識し、日々の近隣住民とのふれあいや地域の行事にも積極的に参加し、交流を大切にしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい ○ 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある ○ 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 ○ 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が ○ 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			



(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目  
(評価項目の構成)

## I.理念に基づく運営

## II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

## III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

## IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

## 【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム薬師谷マナー

(ユニット名) 岩戸

記入者(管理者)  
氏名 横濱 和枝

評価完了日 21年 7月 18日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) ミーティング時に管理者職員で話し合い、理念の見直しをしている。</p> <p>(外部評価) 設立当初の理念を、管理者を中心に職員全員が共有し実践しているが、目標に到達している感があり、管理者や職員もそれを感じている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 日常的に散歩をし、挨拶をしたり、ご近所の方と交流している。又自治会活動にも参加できるものは参加している。(清掃、盆踊り、フリーマーケット)</p> <p>(外部評価) ホームに隣接する畑の持ち主に野菜の作り方を教わったり、近所の方が野菜を持ってきたりもしている。地域の行事にも積極的に参加し、地域住民と利用者の交流を大切にしている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) これといって貢献は出来ていない。しかし利用者の方が日常的に地域に出て、交流する事によって認知症の方を少しでも理解して頂ける様になったのでは？</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に1度開催し、活動報告し参加者からいろんな意見を聞きサービスに生かしている。	
			(外部評価) 地域の役職の方も参加してくれるようになり、行政職員や家族から、いろいろなアイデアや意見が出されていることが、要点をしっかりと記録している会議録から読み取れる。また、出された意見をサービスに活かす努力もしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議のメンバーに市の職員の方にも参加して頂き協力してもらっている。市の事業の介護相談員さんの受け入れ、包括のGH連絡会に参加協力している。又担当者から情報提供頂いたり、問い合わせなど協力頂いている。	
			(外部評価) 運営推進会議の時に行政説明をしてもらったり、利用者の暮らしぶりなどはもちろん、運営についても報告や相談が気軽にできる良好な関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ミーティング時に拘束をしないケアに取り組むよう話している。夜間のみ玄関施錠している。	
			(外部評価) 職員は外部の研修も受講し、拘束するような言動がないか日々気をつけている。玄関の鍵は、夜間（防犯）と危険な時間帯以外は、常に自由に出入りできるよう施錠していない。センサーは付けているが、常に職員が安全に配慮しながら拘束のないケアに取り組んでいる。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止の理解浸透を図り、又スタッフのストレスがケアに影響を与えてないか把握するよう努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修に参加し、理解は出来ているが実際に活用していない。又スタッフにも十分に話し合い理解浸透を図って行きたい。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者や家族に十分に説明をし納得を得た上で手続き、契約を行っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 手紙、訪問時、運営推進会議等で常に問いかけ何でも言ってもらえるように心かけている。意見はミーティング時で話し合い反映している。  (外部評価) 来所する家族から、意見や要望等を聞くように努めている。家族会を立ち上げたいと考えており、そのための行動も起こしてはいるが、中心になってくれる方への負担など様々な課題があり、設立には至っていない。	家族会は、利用者や家族の意見等を運営や日々のケアに反映させるための有効な手段であるため、設立できるよう家族と協力しながら進めていくことを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) ミーティング等で職員の意見や要望を聞くように心がけ月に1回ホーム長会議で話し合い反映できるよう努力はしている。</p> <p>(外部評価) 法人代表者や管理者が、職員の意見を大切に考え十分聞いて反映させてくれることを職員も承知しており、ミーティング等でも意見を言いやすい環境が整っている。さらに個別面談の時間も設定されるなど、きめ細かい対応がなされている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 月に1回経営者同席でホーム長会議を開き、スタッフの事利用者の事、相談出来る環境はある。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 月に1回経営者同席でホーム長会議を開き、スタッフの実情、等把握し、資格の所得、研修会等勉強をする機会を与えて頂いている。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 運営推進会議に他のホームの方にも参加して頂き交流している。市のGH連絡会に参加、今後交流出来るように取り組んで行きたい。相互研修に参加している。</p>	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 本人に会って心身の状態、本人の思いに寄り添って、今困っている事、不安な事、願い等聴き、安心出来るように勤めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 十分に時間を取り、ご家族の思いを理解し、事業所の方針等を話し合い協力できる関係作りを作っていく。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時本人家族の思い状況を確認し支援の提案、相談を繰り返す中で信頼関係を築き必要なサービスに繋げる。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者は人生の先輩であるという考えをもって教えてもらうようにしている。そういう声かけに配慮している。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族との連絡を蜜に行い面会にも着て頂くように声かけしている。又面会時はゆっくりと過ごして頂けるようにしている。本人の日頃の様子を報告し、又相談したり行事ごと声かけし、一緒に支えていくよう関係作りをしている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 行きつけの美容院、知人宅、行きたい時に行ったり、知人が自由に訪れたり出来るよう支援している。  (外部評価) 行きつけの美容室に通ったり、昔からの友人知人を訪ねて行くなど、馴染みの関係を継続できるよう支援している。また同市内の他地域からの利用者もいることから、新たな馴染みを作ることに努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士の関係がうまくいくように気をつけ、必要に応じスタッフが関わり孤立しないよう勤めている。日々変化するので注意深く見守る。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 必要に応じて相談、情報提供をしている。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 職員は一人ひとりの思いや意向について関心をはらい希望、意向に添うよう支援している。困難な場合は本人の視点にたって意見を出し合い、話し合っている。  (外部評価) 職員は利用者への声かけに努め、日々の生活の中や、外出時、行事等の特別な時間の中での一人ひとりの言動や行動、表情などをよく把握している。また、そこで得た情報はセンター方式（日常の情報集約のためのシート）を活用し、追記して職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人のバックグラウンドは本人を理解するためにも重要把握するよう努めている。入所持のアセスメントで記入し、後日わかったことは追加記入し、スタッフ間で共有している。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) センター方式のシートを利用し、出来る事、分かる事アセスメントし、プランに反映し、共有している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) ミーティングでアセスメント、モニタリング、プラン職員全員で話し合い、又家族の方にも参加して頂き、(来れない方は面会時) 反映している。	
			(外部評価) 職員全員が、利用者により良く暮らしてもらうためにはどうしたらよいかを考え、現在担当制の導入を試みている。家族にも可能な限り参画してもらうよう努めており、必要に応じて関係者からの聞き取りや話し合いを行い、介護計画の作成とモニタリングを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 24時間シートを利用し記録している。職員がいつでも見る事ができ気づき、工夫等共有できている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 単一のサービスだけにとどまらずその場、その時のニーズに応じて柔軟に支援している。通院時の送迎、付き添い、お墓参り、知人宅への送迎。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 近くの理.美容院を利用。近くのスーパーを利用し買い物。魚屋さん、パン屋さん来て頂き買い物。	



自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) かかりつけ医と連絡を取りながら適切な医療を受けら れるよう支援している。	
			(外部評価) 利用者や家族の希望を最優先し、かかりつけ医の受診 ができるよう支援している。また、法人代表者が医師 であるため、必要に応じて専門医と連携をとることも でき、適切な医療を受けられる体制ができている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 看護職員を配置している。常に利用者の健康管理、状 態変化に応じ対応している。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院時には本人の情報を提供し、時々職員が見舞い、 又家族とも情報交換しながら速やかな退院支援に結び 付けている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携を取 り、ホームで出来る事をお話し意思確認しながら取り 組んでいく。	
			(外部評価) 救急法の研修を受講したり、急変時のマニュアルを作 るなど、緊急時の対応方法を身につける努力をしてい る。法人代表者や管理者が医療職で、夜間でも対応で きるよう体制を整えている。	利用者や家族は、状況の変化により不安を感じるの で、今以上にきめ細やかな心のケアに努めていくこと を望みたい。また、法人代表者や管理者を中心に、全 職員で利用者の意向を踏まえた個別の対応方法を話し 合うなど、細かな終末期のケアが実践できるよう期待 したい。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 普通救命の講習を全スタッフが受講している。定期的 に受講し、実践力を身に付けて行きたいと思う。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年に2回避難訓練を行っている。又運営推進会議で協力を 得られるようお願いをしていく。  (外部評価) 近くに山や川があるため、災害に対する意識は非常に 高く、夜間を想定したり、消防署職員、地元消防団の 協力を得ての避難訓練も実施している。非常の際の食 料や仮設トイレ、テント等も常備しており、スプリン クラーの設置も計画している。	災害時は、地域に協力を求めるとともに、ホームを一 時避難所として活用するなど、地域住民の一員として 協力できることを、運営推進会議等を活用してアピー ルしていくことを期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライ バシーを損ねない言葉かけや対応をしてい る	(自己評価) 援助が必要なきもまずは本人の気持ちを大切に、 さりげないケアを心かけ自己決定しやすい言葉かけを するよう勤めている。  (外部評価) 援助が必要な時も、本人のプライドを傷付けないよう にさりげなく声かけをし、状況に応じて居室などプ ライバシーが守られる場所に移動し、自己決定のう え対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり 、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者の声を出るだけ聞き入れるようにしている。 利用者が思いを言えるような人間関係に勤めている。 洋服を選んで頂いたり、食べたいものを決めて頂 いたり、自己決定の場を作るようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりのペースを大切にし、それに合わせた対応を心かけている。しかし行事、スタッフの都合で決めている事も少なくない。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 本人の馴染みの理.美容院でカットをしてもらえるよう連携を取っている。整容の乱れに対しプライドを大切にしさりげなくカバーしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 配膳、盛り付け、片付け、出来る事をして頂き職員も一緒に会話を楽しみながら食事を摂っている。料理も大皿に盛り付けし、自由におかわりが出来るようにしている  (外部評価) 職員が会話のきっかけや話題を提供し、利用者同士が楽しく食事ができる雰囲気づくりをしている。利用者同士の会話もはずみ、楽しいひと時となっている。支援の必要な利用者横に職員が座り、楽しくかつ自立した食事ができるようさりげない援助がなされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 月に1度目安としてカロリーチェック、毎日食事量、水分量、チェックし体重管理し栄養状態を把握している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 自分でできる方には声かけし見守りをし、できない方に関しては毎食後のケアを行い肺炎の防止に努めている	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンを把握し、可能な限りトイレでの排泄を試みている。個々に応じたパット、リハパンツ、オムツ等使用している方もいる。	
			(外部評価) 必要に応じてチェック表を用いて排泄パターンを把握している。声かけや誘導も利用者のプライドや周囲の利用者に十分な配慮を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 排泄状態を確認し、食事、運動、工夫し又Drと連携し緩下剤等調整している。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) スタッフの都合で夜間入浴が出来ない。しかし個々の希望により、午前中、午後、毎日、隔日等自由にもらっている。全介助の方はスタッフの都合による事もある。	
			(外部評価) 職員には、毎日でも入浴させてあげたいという意欲もあり、できる限り利用者の希望にそった入浴支援をしている。体調や気分の優れない場合は、半身浴や清拭に切り替えるなどの対応を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) その人の状態により、お昼寝、又和室で休憩したり個別に対応している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の管理（ホーム長、主任、看護師）をし、他のスタッフにも効能、副作用、変更、を知らせ一覧表を作り、誰でも見る事が出来るようにしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 個別にその人が出来る事、したいことをケアプランに入れ支援している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 外出の機会を増やし、支援している。又個別に思いを聴き希望に沿えるよう努力している。	
			(外部評価) 日常、ユニットごとに作っている食事を、1つのユニットで全て作る事により人員と時間を確保し、ドライブなどの外出に充てる工夫をしている。また、玄関先にベンチを置くなど、少しでも外に出やすい環境づくりに配慮している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金の管理ができる方は財布を所持され自分で支払いをされる。又お金を持っていないと落ち着かれない方も居る。お財布の中に千円いつも入れておいている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 自分で電話をかけれる方は自由に使って頂いている。又かけれない方も取りつないでいる。又手紙を出される方は、替わって出している。かけれない方はスタッフが一緒に関わり支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) リビングには季節に応じた飾り付けをしたり、四季を感じて頂くように工夫している。温度計、湿度計を数箇所に配置し、快適に暮らしていただけるよう配慮している。観葉植物、緑のものを置き気持ちよく暮らして頂けるようにしている。</p> <p>(外部評価) リビングは、利用者と職員がのびのびと座って食事ができる大きなテーブルを置いているが、それでも車いす等が十分に行き来できる広いスペースがある。大きな窓からは適度な光が入り、緑豊かな景色を見ることができ、落ち着いた共用空間が確保されている。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価) ソファ、外のベンチ、和室、居室、各々が自由に過ごされている。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 備え付けのベッド、ソファ、タンスがありあまり持ち込むものが少ないとは思いますがそれでもTV仏壇机タンス等もって来られている方もいる。</p> <p>(外部評価) 備え付けのタンスやベッドもあるが、利用者の使い慣れた好みのタンス等も持ち込むことができる。各部屋に2人がゆったり腰掛けられるしっかりとしたソファが設えられており、居室内でもゆっくりくつろぐことができる。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価) トイレの表示、手すりの設置、等安全で自立した生活が送れるよう支援している。</p>	